

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RDM7-028-81-1	2024通年	医学教育部(25590)	1, 2, 3, 4	2	他
科目名(講義題目)			担当教員		
先端感染症特論II【Special Lecture II on Infectious Diseases and AIDS】(先端感染症 特論 II (F2))			上野 貴将, 湯永 博之, 杉浦 互, 渡辺 恒二, 山本 浩之, 立川 愛, 俣野 哲朗, 前田 賢次, 中畑 新吾, 野村 拓志, 菅田 謙治, 高橋 尚史		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力 ……25% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力 ……35% 3.グローバルな視野と行動力 ……35% 4.地域社会を牽引するリーダー力 ……5%					
授業の形態	講義				
授業の方法	質疑応答を重視した講義形式で、Power point等を活用する。なお遠隔地の学生や社会人学生等には、補講、集中講義、ビデオ講義あるいはe-ラーニング等により対処する。				
授業の目的	感染症の疫学、臨床医学および社会医学に関して、以下のことについて学ぶ。(1) 感染症に関する体系的な知識、(2) 感染症の診断と疾患、(3) グローバルな流行と疫学、社会医学、(4) 感染症研究で必須な統計手法、(5) HIV感染症を具体例とする診断と治療法。				
学修目標	【A水準】 感染症の疫学、臨床医学および社会医学に関して、体系的な知識を得るとともに、感染症の診断やグローバルな流行、社会医学的なアプローチについて議論し、あるいは研究を実施できるようにする。 【C水準】 感染症の疫学、臨床医学および社会医学に関して、体系的な知識を得るとともに、感染症の診断やグローバルな流行、社会医学的なアプローチを理解できるようになる。				
授業の概要	さまざまなヒト感染症について、自然経過と、病態に関わる諸症状、診断に関わる検査法と治療について学ぶ。加えて、グローバルな感染症の最新の疫学および感染拡大の歴史および社会的な問題と予防啓発について理解を深める。同時に感染研究において必須な医学統計、疫学統計の基礎を学ぶ。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		湯永 博之【eE-0】	HIV感染症の診断と治療		
2		湯永 博之【eE-0】	抗HIV薬の薬理学、薬剤代謝、慢性毒性		
3		杉浦 互【eE-0】	グローバル感染症の現状と課題		
4		杉浦 互【eE-0】	感染症におけるゲノム科学		
5		渡辺 恒二【eE-0】	日和見感染症と AIDS の転帰		
6		渡辺 恒二【eE-0】	感染リザーバーに基づく疫学的戦略		
7		山本 浩之【eE-0】	抗ウイルス免疫応答総論：防御機構とウイルス攪乱		
8		山本 浩之【eE-0】	HIV/SIV感染症に対する適応免疫応答		
9		立川 愛【eE-0】	細胞免疫療法の新たなアプローチ		
10		俣野 哲朗【eE-0】	ワクチンによる感染制御		
11		前田 賢次【eE-0】	ウイルス感染症に対する新規薬剤の開発		
12		中畑 新吾【eE-0】	ウイルス感染症領域におけるオンコロジー		
13		野村 拓志【eE-0】	感染症制御における動物モデルの役割		
14		菅田 謙治【eE-0】	ウイルス感染症における抗原提示とT細胞応答		
15		高橋 尚史【eE-0】	ウイルス残存に関する諸問題		
授業外学修時間の目安	本科目は、90時間の学修が必要な内容で構成されている。授業は30時間分(2h×15コマ)となるため、60時間分相当の事前・事後学修(課題等含む)が、授業の理解を深めるために必要となる。				
テキスト	特に指定はせず、講義に関連した参考論文などを紹介する。				
参考文献	わかりやすい医学統計学：森實敏夫 メディカルトリビューン、・ WMA Declaration of Helsinki - Ethical Principles for Medical Research Involving Human Subjects http://www.wma.net/en/30publications/10policies/b3/index.htmlAIDSinfo Web site; http://AIDSinfo.nih.gov Atlas of AIDS 3rd edition; Current Medicine, Inc.,2001. (edited by G,L.Mandelland D.Mildvan.) Harrison' s principles of internal medicine 16th ed.http://api-net.jfap.or.jp;エイズ予防情報ネット(疫学情報、予防啓発ガイドラインなど)				
履修条件	特になし				
評価方法・基準	講義への積極的な参加、講義中の質疑応答や、講義終了後に提示されるテーマに関するレポート、小試験等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を評価する。各講義に関して、成績評価(小テストまたはレポート提出)を行い、2/3以上の評価が得られていることを修了の条件とし、さらに、評価された中から、上位5講義の得点の平均値をもって成績とする。				
使用言語	「英語」による授業				
教科書・資料の言語	「英語」のテキスト				
実務経験を活かした授業	非該当				